



第51号

回覧



『元気な金目 未来につなぐ』

# 金目エコだより

発行日 令和8年1月1日

発行者 金目エコミュージアム広報委員会

連絡先 平塚市立金目公民館内 ☎58-0101

<http://hiratsuka.johokyoyu.net/area/kaname>

## 新年の挨拶

会長 米村康信

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかな新年を迎えたこととお慶び申し上げます。

金目エコミュージアムは今年で創設19年目を迎えます。金目エコがこのように発展し続けてこられたのも、地域の皆様のエコ事業活動に対する深いご理解と多大なるご協力に依るものと深く感謝申し上げます。

エコ会員をはじめ、地域の皆様方のたゆまぬご協力により、2023年には「日本エコミュージアム全国大会」が金目の地で開催され、全国的にも知られるようになりました。その結果、昨年は立教大学大学院の卒業研究生が「地域価値を紡ぎ直す日本型エコミュージアムの探求」と題して、金目エコミュージアムが研究対象となりました。金目エコは、地区の歴史・文化・自然環境や活動事例、公民館との関わり等を理解してもらうために、半年にわたってサテライト訪問、金目エコのイベントや各グループの事業活動の体験、諸会議にも参加していただいて研究資料として提供してきました。さらに会員へのアンケート調査にも協力致しました。このような地道な活動は金目エコを全国的に知らしめ、また更なる金目エコの発展に欠かせない活動となっていました。2027年には創設20年を迎えます。金目エコ会員は地域の学芸員として歴史、自然、文化を通じて更に地域の発展に邁進してまいりますので、これからもご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 東海大学の博物館実習と金目エコミュージアム

東海大学 准教授 江水 是仁

東海大学では、博物館学芸員として働くために求められる「学芸員資格」を取得するための授業があります。

「博物館実習1」では、実際の博物館の活動の実態を把握するための「見学実習」の一環として、金目エコミュージアムの見学を行っております。

見学実習に参加する学生の多くは、東海大学前駅から大学までの往復ばかりで、大学の外を歩いたことがありません。したがって、見学実習の機会を通して金目地域を初めて歩くことになります。

実際、学生たちは、金目エコミュージアムのサイトを歩き、解説を聞くことで、大学周辺の自然環境（谷戸や丘陵地）と、その影響を受けた先人たちの生活の痕跡などに気づくことができたようです。この経験をもとに、芸術学科に所属する学生は、金目地域のデザインをテーマに卒業設計を行い、現在、神奈川県立近代美術館に就職しました。

現地で資料を保存・利活用し、それらの資料を学んだ人たちによって支えられているエコミュージアム活動は、今後の博物館活動にはなくてはならない活動だと考えます。今後とも、見学実習を通して、エコミュージアム活動を担える人材育成を展開していきたいと考えます。引き続きよろしくお願ひ致します。



見学実習(R7.11.8 おおくぼ公園)



見学実習 (R7.11.8 与一廟)

## 柿もぎ体験を通じて

子ども自立生活支援センター（通称「きらり」）

鈴木 康一



11月27日の放課後、きらりの子どもたちは、金目エコミュージアムさんのご厚意により、柿もぎ体験をさせていただきました。

下は3歳から上は高校生まで、3つの施設から集まった約60人の子どもたちは、「どうやって取るの？」「これ、大きいでしょ！」「拭くとピカピカになるよ！」と楽しそうに話しながら収穫しました。カゴがいっぱいになんでも「もっと取りたい！」と、なかなかやめられず、収穫に夢中な様子が伝わってきました。

自分たちがもいだ柿を前に、「いつ食べるの？」「早くみんなに配りたい！」と嬉しそうに話す子どもたち。自然に触れ、地域の皆様とふれあえるこのような機会は、きらりの子どもたちにとっても、大切な思い出となります。

金目エコミュージアムの皆様に心より感謝申し上げます。貴重な体験をいただき、本当にありがとうございました。



## どんぐり工作に参加して

北金目住 S様

金目工コと金目公民館共催による「どんぐり工作」が11月22日（土）、金目公民館2階集会室で子ども20名と保護者6名が参加、工コ会員と公民館運営委員の計10名が出席して開催されました。

終了後、子どもと一緒に参加した保護者のS様に感想を書いていただきました。

「初めて参加させていただきました。冒頭の「どんぐり」の説明で「どんぐり」にはいろいろな種類があり、その見分け方を学び大変面白かったです。工作もいろいろな道具を用意していただき、娘と一緒に私も熱中しました。来年も参加したいです。ありがとうございました。」



作品の材料選び



親子でどんぐり工作

## コスモスマつり

9月20日（土）金目小・みずほ小児童対象にコスモスマつりが公民館2階集会室で開催されました。

### 1. 絵本の読み聞かせ（お話の会）

『パン泥棒』 『ゆうたとさんぽする』 『もうぬげない』 『よかったねネットくん』

### 2. 液体窒素を使った実験（金目工コ自然学級G）

楽しい絵本を静かに聞いていた子供たち、白衣姿の米村先生登場で、興味津々とした表情に変わりました。机の上に並べられた花・野菜（キャベツ、オクラ）・バナナなどが液体窒素につけると、一瞬にして凍りつき、手で握るとぱらぱらになりました。最後に卵、砂糖、牛乳を混ぜてアイスクリームが瞬時に出来上がりました。液体窒素を使った不思議な実験はこれで終了。

驚きの連続の1時間でした。（金目工コ自然学級G 芹沢宣子）



絵本の読み聞かせ



液体窒素の体験

（写真提供：金目公民館 撮影 林 隆一 氏）

## 【写真で見る金目工コの活動状況】



教職員を対象に「地域の歴史を知る」を講義（R7.8.27 みずほ小）



秋山博の展示パネルで参加（R7.9.28 玄斎まつり会場）



「片岡の歴史」を講義(R7.11.28 片岡ふれあいサロン)



小学生と脱穀体験 (R7.10.16)



秋の朝市(R7.11.8 ふれあい広場)

## お詫びと再掲

前号（第50号）で掲載しました右記2社のQRコードが読み込めないため大変ご迷惑をおかけしました。

この場を借りてお詫びを申し上げますと同時に改めて掲載します。



尾張屋



ヘアークラフト



お飾り作り教室  
(R7.12.13)

## お知らせ（イベント開催予定）

金目公民館ふれあいまつり（  
秋山博頌徳祭  
秋山博・村井弦斎資料展  
みそ造り教室

2月28日（土）～3月1日（日）  
3月20日（金＝春分の日）  
3月20日（金）～22日（日）  
3月（日時 未定）

金目公民館  
寂靜寺  
金目公民館  
金目公民館